

赤潮被害緊急支援事業の概要

1 目的

宇和海で発生した過去最大の赤潮被害に対応し、漁業者は、異臭の発生や海洋汚染を避けるため、死亡したハマチ、マダイ等の養殖魚を迅速に処理しているが、その処理量が膨大で多額の経費を要し、漁業者のみでは処理が困難であるため、関係市町と連携して、漁業者自ら処理できない死亡魚の処理に要する経費の一部を緊急に支援することにより、漁業者の経営の安定化を図る。

2 事業年度 平成24年度

3 事業主体 市町 (事業実施主体 漁協)

4 事業内容

有害赤潮により大量の死亡魚が発生した場合に、その処理経費に対して助成する。

【補助対象経費】

赤潮により大量の死亡魚が発生し、漁協がやむを得ず民間の廃棄物処理業者等により処理した経費

5 事業費及び負担区分

事業費：33,580千円

補助金：8,395千円(補助率：県1/4以内)

【県、市町、漁協、事業者の応分負担を想定】

6 事業費内訳

事業項目	事業内容	事業費	県	市町・その他
赤潮被害による死亡魚の処理	有害赤潮により大量の死亡魚が発生した場合に、その処理経費に対して補助する。	33,580千円	8,395千円	25,185千円

※死亡魚発生量 880トン

【処理内訳】

漁協・市町 150トン

廃棄物処理業者等 730トン

【事業費積算】

730トン×4.6万円/トン(処理費単価：運搬費込み) = 3,358万円